

フィリオ 30 とロータスクイーンを使った

歯科医院における“スポンジ や シンク”における衛生管理について

【歯科医院又は外科器具を使用する、使用後のスポンジについて】



一般的にも スポンジの汚れや水気が残っていると 1000 万以上の菌が残存していると言われております。ましてや歯科医院では血液やタンパク、ウイルスという一般家庭とは比較にならないものと示唆します。但し、塩素系漂白剤は長く浸漬したり、直接スプレー噴霧も困難です。又、市販の家庭用洗剤の除菌レベルで、どうなのか？そういった声もございます。外科器具など血液の汚れを伴うスポンジは、フィリオ 30 とロータスクイーンでの洗浄が望ましいと思われまます。

- 1) 使用後のスポンジの水気を十分に切ります。
- 2) **フィリオ 30 原液**をスポンジに満遍なくスプレー噴霧し、更に**ロータスクイーン**も満遍なくスプレーします。※予め 混合しておいても構いません。(効果は同じ為)
- 3) 揉みこんでスポンジ全体に浸透させていきます。
- 4) 次に洗う時まで放置しておきます。

洗浄前

フィリオ 30 とロータスクイーン洗浄後 ※上記手順による

スポンジ
絞り液
ATP測定



【シンク・配管の感染対策と、消臭対策】

- ① フィリオ 30 全体に ②ロータスクイーン 全体にスプレー

※予め、フィリオ 30 にロータスクイーン混合したもので構いません。

- ③よく清掃し、水で流します ※一般的なシンクの清掃と一緒に。

＜フィリオ 30 とロータスクイーンにおける“シンク、配管内”での効果＞

◆除菌と洗浄

細菌やウイルスを除去し、血液での汚染、タンパクや脂肪などの汚れ除去し排水された液は排水溝を通過して配管内をきれいにします。

◆配管の詰まりとニオイを解消

ロータスクイーンによる、配管の詰まりや臭いの原因である油脂の再結合を”特許技術のナノ洗浄で油脂を超微細化に分散させ、再結合させない為、配管の詰まりやニオイの解消に日常的に解消されていきます。

